

色にも注目☆

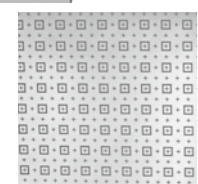
紺色や藍色に白い模様のイメージが強い宮古上布ですが、これは琉球王朝時代に王府からの命令で作られていたときのデザインです。実は、それ以前やその後の宮古上布には、カラフルな宮古上布もあります！（表紙参照）

最新の宮古上布

今の職人さんがつくる宮古上布は色も模様も華やかなデザインも多く、とても新鮮で明るい良さがあります。色づかいや模様の配置、大きさなど様々な工夫がされているので、同じ模様の上布で印象の違いを比べてみるのも面白いです。



発見！こんなところに宮古上布や模様が使われています



①市長室前室の入口

…ナンミンタマ（並んだ目玉）

「市民ひとりひとりの目」を表し、人々が暮らしやすい豊かな宮古島市を目指して行政運営を行うという思いがこめられています。



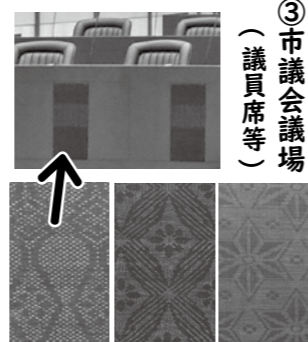
②各課・各フロアの案内板



（宮古島市以外でも！）

④沖縄県庁 | 階級民ホール（円柱）…冬季のみ（11月～）

⑤沖縄県議会議場（壁）



③市議会議場（議員席等）

宮古上布をもっと知りたい！実物をよ～く観察してみよう！

宮古島市総合博物館では、様々な模様の宮古上布やその歴史についてまとめた映像が見られます。さらに、昨年寄贈された昔の貴重な宮古上布（梅津茂雄氏収集）の展示を行っています。

宮古島市伝統工芸品センターでは宮古上布を織る際の器具の展示や年表で宮古上布の歴史を学べるだけでなく、現代の新しいデザインで織られた宮古上布も見られます。ぜひ、実物をみてよく観察してみてくださいね！ ※コロナの状況により開館状況が異なる場合があります。



宮古島市総合博物館

【開館時間】9:00～16:30

【休館日】毎週月曜日・祝日
慰霊の日、年末年始

平良字東仲宗根添 1166-287

☎ 73-0567

宮古の自然・歴史・民俗・美術工芸についての貴重な資料が沢山展示されています。ミヤコノロジカの骨などの骨格レプリカをはじめ、タッチパネルやジオラマ展示もあり、宮古の自然と風土を分かりやすく解説しています。



宮古島市伝統工芸品センター

【開館時間】9:00～18:00

【休館日】年末年始

上野字野原 1190-188

☎ 74-7480

宮古上布の歴史を学べる展示のほか、宮古上布の着物・反物の見学・購入、宮古上布・宮古麻織・宮古織を用いた小物を販売しています。

【写真提供・取材協力】宮古上布保持団体
・宮古織物事業協同組合・宮古島市総合博物館

【参考文献】・富士栄登美子（2005）琉球絣の現在 - その意匠と活用
・宮古上布保持団体（2014）『宮古上布～その手技 [改訂版]～』

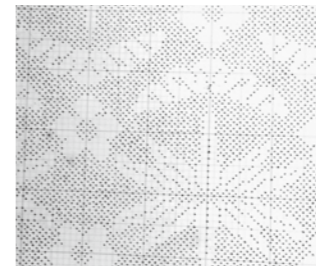
2 誰好みにデザインしたの？

なんの模様かわかるかな？



▲もみじ

宮古にはない、県外の四季を表す魅力的な植物や縁起の良いものが描かれています。



▲松竹梅（絵図）

模様から、県外の人も宮古上布を着ていたことがわかるね！



昔の宮古の人は、見たことのない植物をどのように模様にしていったらう…？

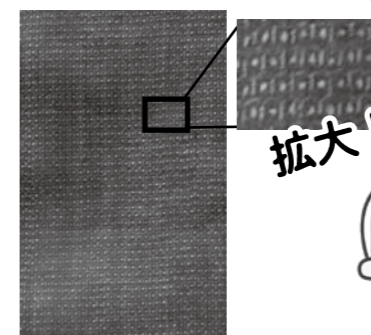


3 この宮古上布は男物？女物？

男物と女物の模様の大きさを比べてみよう



左：女性



右：男性

同じカミヌクー（亀の甲）模様

男性には細かいシンプルな模様がかっこいい！とされていました。細かな模様は薩摩藩にも人気があったそうです。※



拡大！



昔は性別で区別していたけど、今では区別はなくなって、作る人の好みの大きさを、模様も自由にデザインしているよ。

これ、同じカミヌクー模様なの！？近づいてよく見ないとわからない！こんなに細かい模様もあるんだね。作った人は本当に器用だなあ…。



※薩摩藩を通し流通したため「薩摩上布」と呼ばれていたこともありました。